

# 令和3年度 地域密着型サービス事業所及び居宅介護支援事業所等に対する 実地指導の結果について

## 1 実地指導を実施した事業所

介護サービス事業等の種別		事業所数 R3.4.1現在	実施数
地域密着型サービス	指定（介護予防）認知症対応型通所介護	3	0
	指定（介護予防）小規模多機能型居宅介護	14	3
	指定（介護予防）認知症対応型共同生活介護	17	6
	指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	※ 3
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0
	看護小規模多機能型居宅介護	1	0
	指定地域密着型通所介護	36	4
その他	基準該当短期入所生活介護	1	0
	指定居宅介護支援	53	2
	介護予防支援（地域包括支援センター）	8	0
計		137	18

※ R3.4.2以降に開設した事業所に実施した数を含む

## 2 実施時期 令和3年7月～令和4年1月 (まん延防止等重点措置期間の8月から9月を除く)

## 3 指導結果

改善勧告に至るような指定基準違反等はなかったが、軽微な改善を要する事項については、改善状況報告（計画）書の提出を求め、適正に改善されたことを確認した。

《 指導内容等 》 111件（うち改善状況報告（計画）書を求めた件数：57件）

人員基準に関すること	運営基準に関すること	介護報酬に関すること
9件	97件	5件

## 4 実地指導における主な指導事項（各事業所の今後に向けての留意事項）

### (1) 人員基準に関すること

ア 事前に提出された従事者の勤務の体制及び勤務形態一覧表と勤務管理表（出勤簿）が一致していないことが見受けられたため、勤務実態と合致すること。

イ 実態に見合った適切な人事発令がされていないため、適切に実施すること。

### (2) 運営基準に関すること

ア 重要事項説明書の記載事項について、主に、職員の職種・員数・職務内容・

配置状況、利用者の利用料等、加算の内容、苦情受付の部分に、記載誤りや記載漏れが見受けられたため、適切に記載すること。

イ 運営規程の記載事項について、主に、職員の配置、利用者の利用料等、文書の保存年数、加算の内容、利用者自己負担の割合の部分に、記載誤りや記載漏れが見受けられたため、適切に記載すること。また、記載事項に変更が生じた際は、市へ変更届を提出すること。

ウ 市への届出がされていない加算について、重要事項説明書や運営規程に記載されている事例があり、誤解を生じる恐れがあるため、記載しないこと。

エ 契約書、個人情報提供の同意書、ケアプラン、各種計画書（看取り介護、施設サービス）などの記載すべき事項に記載漏れがあった。トラブルの原因にもなるため、適切な同意・説明を行うとともに、書類を整備すること。

オ ノロウイルス感染症などによる嘔吐に対応するキットや、消毒液の作成手順・汚物の除去方法などに関するマニュアルが未整備の事業所が見受けられたので、適切に対応すること。

カ 認知症グループホームへ入所の際、認知症であることを医師の診断等により確認していない事例が見られたため、適切に確認すること。

キ アセスメントが不十分な事例があった。アセスメントシートに記載漏れがないようにすること。

ク モニタリングの結果について、記録していない不備が見られたため、適切に記録すること。

ケ 運営規程、苦情処理体制や相談窓口、運営推進会議録など、見やすい場所に掲示又は備え付けられていない事業所が見受けられたため、適切に対応すること。

### (3) 介護報酬算定に関すること

ア 該当していない加算（入浴介助加算、認知症専門ケア加算（Ⅰ））について、市への届け出がされていたため、適切に変更届を提出すること。

イ 介護職員処遇改善加算について、就業規則等の明確な書面での整備がなく、また、その内容が全ての介護職員へ周知・説明されていない事例があった。明確な書面を整備し、その内容について全ての介護職員へ周知・説明すること。

以 上